

発行にはいくつかの
条件が

医師が「リフィル可能」とした患者 が対象

対象となるのは「症状が安定している患者」
のみで、「薬剤師による服薬管理の下、一定
期間内に処方箋の反復使用が可能」と医師が
判断した場合です。

また、慢性疾患(※)で、定期的に通院している
患者が対象となることが多くなっています。

※高血圧や糖尿病などの生活習慣病
アレルギー性鼻炎など



まずはかかりつけの医師に相談を

患者にリフィル処方箋が適しているかどう
かは、あくまで医師が判断することなので、
毎回医師の診察が必要となる場合もあります。

リフィル処方箋は、通院の手間や医療費の負
担の軽減になるメリットがあります。

一方で、医師の診察回数が減る分、薬剤師と
密にコミュニケーションを取ったり、患者自
身が体調の変化をより気遣ったりする必要が
あることを忘れてはいけません。

リフィル処方箋の特長と留意点をしっかり
と理解して活用をしていきましょう。

リフィル処方箋・バイオシミラーについて
詳しく知りたい方は、以下をご覧ください。

●もっとリフィル処方箋を知りたい

厚生労働省

電 話：03(5253)1111(代表)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/iryouhoken/iryouhoken14/index_00014.html



政府広報オンライン

電 話：03(5253)2111(代表)



●もっとバイオ医薬品やバイオシミラー を知りたい

厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/iryou/kouhatsu-iyaku/index.html



国立医薬品食品衛生研究所 生物薬品部

<https://www.nihs.go.jp/dbcb/>



一般社団法人 くすりの適正使用協議会

<https://www.rad-ar.or.jp>



一般社団法人 日本バイオシミラー協議会

<https://www.biosimilar.jp>



●薬について相談したい

独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 くすり相談窓口

電話：03-3506-9425
受付時間：月曜～金曜（祝日・年末年始を除く）
9時～17時



ご存知ですか

リフィル処方箋 バイオシミラー



リフィル処方箋とは？

令和4年度（2022年度）に
導入された新しい処方箋



1通で最大3回まで繰り返し使用することが
できる処方箋です。

これにより、通院の回数を減らせるなど、
様々な人にとってメリットがある制度
です。

リフィル処方箋による薬の受取方法

1回目の有効期間は、通常の処方箋と同様
4日以内です。

2回目以降は、診察なしで、薬局で薬を受
け取ることができ、薬の受け取り期間は、
「調剤予定日（投薬期間を経過する日）の
前後7日間」となっています。

政府広報オンライン「リフィル処方箋」を知っていますか？
1度の診察で最大3回まで薬の処方を受けられます！」を基に作成

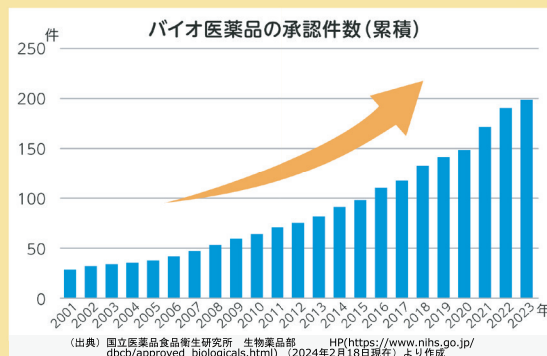
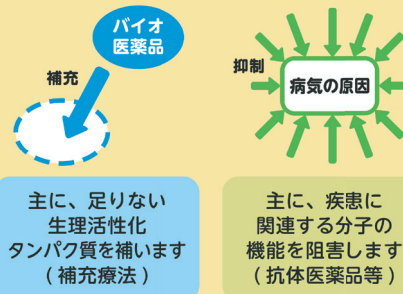
バイオシミラーとは？

バイオシミラーは、バイオ医薬品
の特許が切れた後に、他の製薬
会社から発売される薬で、特許が
切れた薬と同じように使うことが
できます。

そもそも、バイオ医薬品とは何か

バイオ医薬品とは

バイオ医薬品は、バイオテクノロジーを応用して
生産されたタンパク質を有効成分とする医薬品です。



バイオシミラーは、先行バイオ医薬品と同等、同質の品質、
安全性、有効性を有する医薬品です。

バイオシミラーを使うメリット

バイオ医薬品やバイオシミラーは、
今までは治療が難しかった病気への効果が
期待されています。

バイオシミラーは、効果や安全性は
そのままで、お財布にやさしい(※)
バイオ医薬品です。

※バイオシミラーは原則として、特許が切れた
バイオ医薬品の70%の値段になります。
そのため、患者・家族の経済的な負担の
軽減につながることが期待されています。



バイオ医薬品、バイオシミラーが使われている
病気の例

- がん ●糖尿病 ●関節リウマチ ●腎性貧血 ●低身長
- クローン病 ●潰瘍性大腸炎 ●加齢黄斑変性 など

厚生労働省作成リーフレット「バイオシミラーってなに？」を基に作成